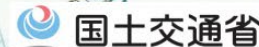


京都ビッグデータ活用プラットフォーム運営協議会における地域モビリティプロデューサー育成事業（京都府学研エリア）



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

京都ビッグデータ活用プラットフォーム運営協議会における地域モビリティプロデューサー育成事業

【実施主体】 京都ビッグデータ活用プラットフォーム運営協議会

【共創パートナー】 京都府

一般社団法人京都スマートシティ推進協議会

公益財団法人京都産業21

地域課題

- ・ 既存交通事業者におけるドライバー不足を背景に、住宅・宅地等整備に合わせた公共バスの増便等への対応が難しい
- ・ 当該地域を含めた学研都市エリアでは、過去自動運転走行実証を進めてきているものの、必要なプレイヤー間での事業観念の議論が進まず、商業サービスとしての社会実装までの具体的な道筋が描けていない状況

実証事業の内容

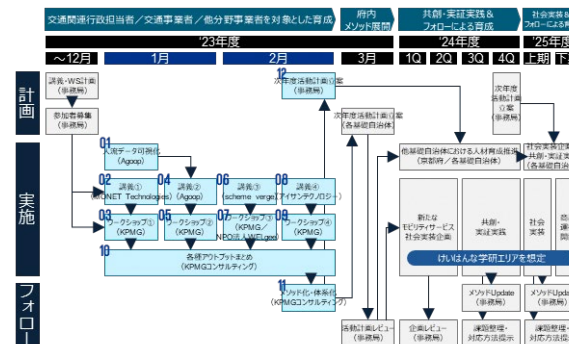
講義・実践型ワークショップ形式の人材育成プログラムを実施する。また、新たなモビリティサービスの社会実装をテーマに、有識者による講義、先進事例分析と、「事業性確立」「運用体制確立」に向けた調査・分析を並行して推進する。

今後の展開

京田辺市における社会実装に向けた“実践”、他基礎自治体への横展開の2軸で継続的に取り組む

- ① 京田辺市を含む学研エリアにおけるL4自動運転バス社会実装に向けた社会実装企画・共創・実証推進（実践）
- ② メソッドの他基礎自治体への展開及び基礎自治体における活動計画立案
- ③ 各基礎自治体の活動結果を踏まえたメソッドのUpdate・横展開

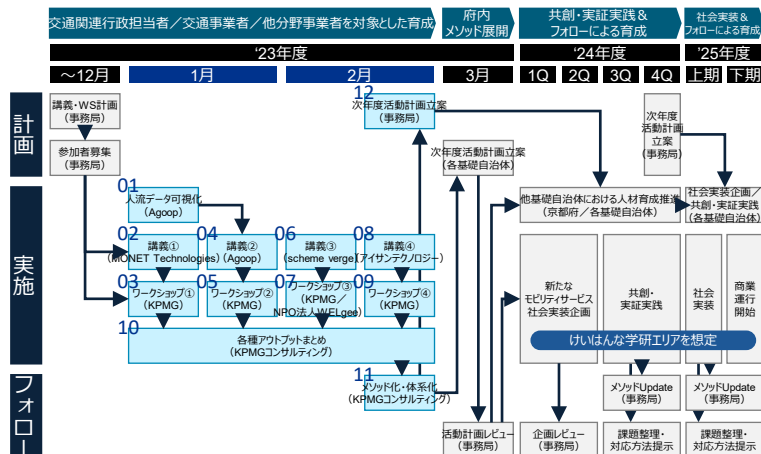
事業実施地域・手順



- 講義①: 新たなモビリティサービス社会実装におけるハードルと乗り越え方 (MONET Technologies社)
 講義②: 当該エリアの人流データに基づく現状認識及び打ち手の検討手法に関する他地域事例 (Agoop 社)
 講義③: データに基づくまちづくり手法 (scheme verge社)
 講義④: 自動運転バス社会実装のハードルと乗り越え方 (アイサンテクノロジー社)

- ワークショップ①: 将来の“暮らし”像策定
 ワークショップ②: 求められるモビリティサービス要件抽出
 ワークショップ③: 事業成立条件を踏まえたビジネスモデル案作成 ワークショップ④: 商業運行体制を踏まえた実証項目 / 交通DXロードマップ案作成

事業スケジュール



*1 難民支援事業を展開するNPO法人